

戸田市本町の戸田中央総合病院で17日、戸田ロータリークラブが一般市民に呼び掛けて献血活動が行われた。同ロータリーが毎年5月に開催し、今年で45回目。午前9時半からの受け付け開始だったが、8時半ごろには献血の市民が集まった。終了予定の午後5時で終わらず、午後6時ごろまで続いた。この日の献血者は524人。日赤によると、県内最大級の規模という。

献血用のバス5台が同病院前に駐車し、日赤は医師5人を含め総勢40人。同ロータリークラブは金子篤徳会長(67)ら会員40人が参加した。同病院の若手職員らのボランティア組織ローターアクトの20人も受け付けや交通整理を手伝っ

た。

ボランティア団体「埼玉骨髓バンク推進連絡会」の運営委員の泉水陽一さん(65)も、白血病などの治療で不足している骨髓のドナー

熱い気持ち集め 市民524人が献血

戸田RC、中央総合病院で

登録者を募集する窓口を開設。市民28人がドナー登録をした。泉水さんは「大変多い。感激です」と喜ぶ。

金子会長は「3年前はクラブの50周年事業として1日で千人を目

終了予定の午後5時を過ぎても献血の人が絶えなかった＝17日夕、戸田市の戸田中央総合病院



標にし、1100人もの市民が来てくれて、戸田市民の熱い気持ちを実感した。今日も500人を超える人が献血に来てくれた。ありがたい」と話していた。